

障がい者相談支援センターからの報告（令和 5 年度第 1 回）

1 相談支援機能強化員連絡会議

（1）目的

熊本市障がい者相談支援センター（9カ所）間の各区にまたがる情報共有や、市全体としての対応の整合性を図る場として、各センターの相談支援機能強化員が集まる会議を毎月 1 回開催。

（2）内容

- ・ 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況
- ・ 困難ケースへの対応、情報共有
- ・ 各種会議の出席状況、内容の共有
- ・ 市からの説明、報告事項

（3）令和 4 年度の取組実績

① 各区障がい福祉ネットワーク会議の進捗状況

<目的>区内での相談支援の充実に向けた円滑な連携協力体制の確立

<構成>障がい者相談支援センター、各区福祉課及び保健こども課
指定特定相談支援事業所、その他の関係機関等

区	回数	内容
中央区	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係各課の活動報告、意見交換 ・ 医療機関との意見交換 ・ メンタルヘルスについて ・ 事例検討
東区	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童発達支援機能強化事業の取り組みについて ・ ささえりあ保田窪との合同研修会「対人援助力を基礎から高める～自分を使える援助者になるために～」 ・ 事例検討 ・ 医療的ケア児への支援について ・ グループホームとの意見交換（取り組み、現状、緊急受け入れ等） ・ まちづくりセンターの業務について
西区	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統合失調症について ・ 日中活動系事業所フィールドワーク報告会 ・ グループスーパービジョン ・ 障害福祉サービスと介護保険サービスの連携について

南区	4	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止について ・生活介護事業所の事業所紹介 ・退院支援を行う医療機関とのネットワーク構築について ・災害時における福祉避難所及び福祉子ども避難所について
北区	4	<ul style="list-style-type: none"> ・グループスーパービジョン ・防災と啓発について ・医療との連携について ・北区事業所情報共有

② 困難ケースへの対応、情報共有

- ・施設入所支援や日中支援型グループホームの空きが少ない
- ・身寄りのない方への支援について
- ・差別が見えない、見えづらくなっている実態について
- ・子ども発達支援センターとの連携、役割のすり合わせについて
- ・強度行動障害の方の保護者への支援について
- ・介護保険移行時の後方支援について
- ・コロナ感染した重度の身体障がいの方への支援について
- ・精神障がい、発達障がいのある若い方のヘルパー申請が通らない
- ・生活保護受給者の債務整理について
- ・区分変更申請の通知先（本人または相談支援専門員）について
- ・要対協との連携について
- ・相談体制のリスクマネジメントについて
- ・関係機関による特定の相談員への苦情について など

③ その他

- ・グループホームのサービス管理責任者による交流会
- ・医療的ケア児者等コーディネーターについて
- ・相談支援従事者養成研修にかかるインターバル実習の受け入れについて
- ・地域生活支援拠点等の整備について（緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場の確保）
- ・センター研修会の開催（防犯研修、精神障がい者への対応について）
- ・事業所内でのアルコールチェックについて
- ・宇城市モニタリング検証について
- ・各区福祉課との情報交換会について
- ・児童相談所との情報交換会について
- ・コロナ禍で認められていたリモートモニタリングの今後の対応 など

(4) 令和5年度の取組予定

① 各区障がい福祉ネットワーク会議

中央区、西区、南区、北区は4回、東区は6回開催予定。

② 検討議題（予定）

- ・ 地域生活支援拠点等の整備について
- ・ 関係機関との意見交換（児童相談所、こども発達支援センター、区福祉課）
- ・ セルフプランの検証
- ・ 防災について
- ・ ガイドラインに関する情報集約
- ・ 委託期間（3年間）の振り返り

2 地域支援員会議

(1) 目的

障がい者相談支援センターの各圏域で実施している地域支援事業における内容の整合性、各区にまたがる情報共有等を図るため、各センターの地域支援員が集まる会議を毎月1回開催。

(2) 内容

- ・ 各圏域における事業の進捗状況、情報共有
- ・ 事業の進め方における意見交換
- ・ 班活動（地域資源班、研修班）
- ・ 市からの説明、報告事項

(3) 令和4年度の実績

① 各圏域における事業の進捗状況・情報共有（抜粋）

ア 関係機関とのネットワークの構築及び連携

- ・ ささえりあ（地域包括支援センター）との情報交換、連携会議、研修等
- ・ 生活支援コーディネーター連絡会への出席
- ・ 校区民生委員児童委員協議会への出席
- ・ 校区自治会長会議への参加
- ・ まちづくりセンターとの情報交換、連携会議への参加

イ アウトリーチの実施

- ・ ささえりあからの依頼によるケース対応
- ・ 区役所保健こども課や保護課からの依頼によるケース対応

- ウ 社会資源の情報収集や共有化、開発等
 - ・福祉サービス事業所、相談支援事業所、ささえりあ、まちづくりセンターへのアンケート調査
 - ・社会資源一覧の作成
- エ 地域における障がい者等への理解促進
 - ・地域の教育機関や民協、社協に対する障がい者サポーター研修等の実施
 - ・認知症サポーター養成講座との共同開催
 - ・地域への広報紙の発行
- オ 災害時における障がい者等の支援体制の構築
 - ・ケース防災支援（マイタイムライン書式の見直し等）
 - ・防災訓練において、災害時の障がい者支援の方法について情報提供

② 班活動

内容別に2班に分かれて、それぞれの班で作業実施。

- 地域資源班
 - ・社会資源マップの作成
 - ・KP5000「住まいプラグ」の活用の検討
- 研修班
 - ・こども向けのサポーター研修の資料作成
 - ・障がいの特性についての動画作成
 - ・障がい者サポーターハンドブックの改訂

(4) 令和5年度取組予定

① 各圏域における事業の進捗状況・情報共有

令和4年度に引き続き、各圏域の活動状況について情報共有を図っていく。

② 班活動

- ・社会資源マップの配布
- ・市民向けサポーター研修、ワークショップの開催
- ・センターPR動画作成
- ・福祉サービス事業所向け動画説明会の実施
- ・ピアカウンセラーの一覧作成